

リスタート構想の取組状況（H26～R2年度）

| 区 分 | これまでの主な取組（H26～R2） |
|----------|---|
| ①施設整備 | <ul style="list-style-type: none"> ○ゾーンの再編整備 <ul style="list-style-type: none"> ・平原ゾーンの整備(ライオン(H28)、チーター・ハイエ(R2)、シマウマ・ヤマアラシ(R3)) ・子どもゾーンの整備(H28) ・ミーアキャット舎の整備(H30) ○情報インフラの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・動物科学館へのwi-fi設置(R2) ・遠隔コミュニケーションシステム構築(スマートグラス等の機器購入)(R2) ○エントランスの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・正門前の舗装改修(H27) ○ユニバーサルデザインに基づく整備 <ul style="list-style-type: none"> ・セニアカーの配備(H27) ・トイレ改修(レストラン、子ども動物園他) ・動物科学館前園路等改修(R2) ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・大型複合遊具の設置(R1) |
| ②動物の展示 | <ul style="list-style-type: none"> ○ゾーン整備に合わせた動物の再配置・入替と特徴を引出す展示 (ライオン、チーター、ブチハイエ、ヤマアラシ、ミーアキャット 他) ○種別飼育展示繁殖計画(H29策定)に基づく個体導入 (レッサーパンダ、フクロテナガザル、クマザル、チーター、ブチハイエ 他) ○環境エンリッチメントと新たな展示手法の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・ライオンへの屠体給餌(R2試行的実施) ・平原ゾーン : パノラマ展示、ガラス展示、コピエ設置等 ・ミーアキャット展示場: 群れ展示、給仕用蟻塚設置 ・展示方法 : ミートキャッチャー、チーターランの実施 |
| ③種の保存 | <ul style="list-style-type: none"> ○世界動物園水族館協会への加盟(H26) ○オランウータンの精液保存実験(京大霊長研) ○コアジサシの保護卵受入れ、孵化実験(植草学園大) |
| ④教育・普及 | <ul style="list-style-type: none"> ○子ども動物園における団体指導 ○出張授業(R1からはリモート授業を導入) ○加曾利貝塚、埋蔵文化財調査センターとの連携(動物園で考古学R2～) ○ちば生きもの科学クラブ(市科学館、県中央博物館と連携) ○飼育員ならではの内容をTwitter、YouTubeで発信 ○ゾウターゲットトレーニング、ライオンミートキャッチャー、チーターラン等の公開 ○園独自のホームページ開設(H28) ○ボランティア(CZV(chiba zoo volunteer)活動の支援) |
| ⑤調査・研究 | <ul style="list-style-type: none"> ○大学、研究機関等との共同研究(京大霊長研、植草学園大、岐阜大、茨城大、東京農大、北里大、目白大、木更津高専、他) ○研究成果の発表(日本動物園水族館協会、鳥類学会 他) ○園における研究発表の場として、アカデミア・アニマリウムの旗揚げ(R2) |
| ⑥プロモーション | <ul style="list-style-type: none"> ○民間事業者によりBBQ開始、カフェスタンド設置等 ○入園料改定(大人500円→700円、小中学生100円→無料、パズポートは据置(小人廃止)) ○大人向けイベント(BREW at the ZOO)の開催(H30～) ○モノレールとの連携(セット券販売、車体ラッピング、広告、各種イベント) ○企業との連携(観光協会、JR、地元プロスポーツチーム、大型商業施設(そごう、イトン等)) ○動物公園アプリの実証実験(R2～) |
| ⑦経営 | <ul style="list-style-type: none"> ○寄付 <ul style="list-style-type: none"> ・ライオン展示場にネーミングライツ導入(H28～) ・Amazonほしいものリストによる寄付(R1～) ○組織 <ul style="list-style-type: none"> ・2課制からグループ制に改組(企画広報班を設置し営業強化)(H26) ・アウトソーシングの実施(子ども動物園を直営から業務委託へ(H26)) ○民間事業者による運営(レストラン、売店、ふれあい動物の里(H28～)) |